

岡山県感染症週報 2014 年 第 4 週 (1 月 20 日～ 1 月 26 日)

◎岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

◎岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

※第 3 週のインフルエンザの集計に訂正がありました。正しくは、全県で 973 名(定点あたり 11.72 人)、備前地域 98 名(定点あたり 6.53 人)です。今週から修正後の値を掲載しています。

◆2014 年 第 4 週 (1/20～1/26) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 2 週	2 類感染症	結核	2 名 (80 代 男 1 名・女 1 名)
	5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1 名 (60 代 女)
第 3 週	2 類感染症	結核	1 名 (70 代 女)
	4 類感染症	レジオネラ症	2 名 (90 代 女)
	5 類感染症	ウイルス性肝炎	1 名 (40 代 男)
第 4 週	2 類感染症	結核	5 名 (幼児 男 2 名、60 代 女 2 名、80 代 男 1 名)
	4 類感染症	レジオネラ症	2 名 (80 代 男 1 名・女 1 名)
	5 類感染症	アメーバ赤痢	1 名 (70 代 男)

■定点把握感染症発生状況

- インフルエンザは、県全体で 2053 名(定点あたり 11.72 → 24.73 人)の報告があり、大きく増加しました。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 549 名(定点あたり 10.38 → 10.36 人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。

【第 5 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 64 施設でありました。(1 月 27 日～1 月 29 日まで)

- インフルエンザ**は、県全体で 2053 名(定点あたり 11.72 → 24.73 人)の報告があり、前週より大きく増加しました。第 2 週以降は報告数の急激な増加が続いています。岡山県では 1 月 16 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、備北地域 (36.80 人)、美作地域 (34.20 人)、倉敷市 (31.88 人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。全ての地域で報告数が大きく増加し、急速に流行が拡大しています。倉敷市、備北地域及び美作地域で定点あたり報告数 30 人を上まわり、発生レベル 3 になりました。また、岡山市、備前地域及び備中地域で新たに定点あたり報告数 10 人を上まわり、発生レベル 2 になりました。インフルエンザによる入院患者は 10 名の報告がありました。インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 59 施設であり、第 4 週も臨時休業が多発しています。県内の発生状況など詳しくは、[「インフルエンザ情報」](#)をご覧ください。全国の第 3 週の発生状況を見ると、定点あたり 11.78 人であり、第 43 週以降増加が続いています。
- 感染性胃腸炎**は、県全体で 549 名(定点あたり 10.38 → 10.36 人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。県全体としての患者数は 12 月に比べて減少したものの、依然として多くの患者が報告されています。ひきつづき手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など詳しくは、[「感染性胃腸炎情報」](#)をご覧ください。
- レジオネラ症**は、第 3 週に 2 名、第 4 週に 2 名の報告がありました。第 1 週からの累計は 8 名となっており、県の過去 5 年の同時期の平均報告数 (1.8 名) に比べて多く報告されています。この感染症は、レジオネラ属菌に感染することによって発生します。レジオネラ属菌は、もともと土壌や水環境に普通に存在する菌ですが、エアロゾルを発生させる人工環境 (噴水等の水景施設、冷却塔、ジャグジー、加湿器等) や循環水を利用した風呂が屋内外に多くなっていることなどから、感染する機会が増加していると考えられます。人から人へ感染することはありません。レジオネラ肺炎の症状は、全身性倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、乾いた咳、痰、38℃以上の高熱、悪寒、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。うとうとする、昏睡、幻覚、四肢の震えなどの中枢神経系の症状や下痢がみられるのも本症の特徴とされます。細胞性免疫機能が低下したヒトでは肺炎を起こす危険性が通常より高いので、特に留意する必要があります。高齢者や新生児のみならず、透析患者、悪性疾患・糖尿病・AIDS 患者などはハイリスク・グループとなります。抗菌薬の投与により治療を行うことができますので、体調不良を感じたときは、早めに医療機関を受診しましょう。

[レジオネラ症とは \(国立感染症研究所\)](#)

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↑	★★★★	RSウイルス感染症	↓	★★
咽頭結膜熱	↗	★★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★
感染性胃腸炎	→	★★★	水痘	↗	★★
手足口病	→	★	伝染性紅斑	↑	★
突発性発疹	↘	★★	百日咳	→	
ヘルパンギーナ	→		流行性耳下腺炎	↑	★
急性出血性結膜炎	→	★	流行性角結膜炎	↗	★★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	→		クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑				

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ : 2 倍以上の減少 ↘ : 1.1~2 倍未満の減少 → : 1.1 未満の増減
 ↗ : 1.1~2 倍未満の増加 ↑ : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白: 発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

インフルエンザ情報 2014 年 第 4 週 (1 月 20 日 ~ 1 月 26 日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

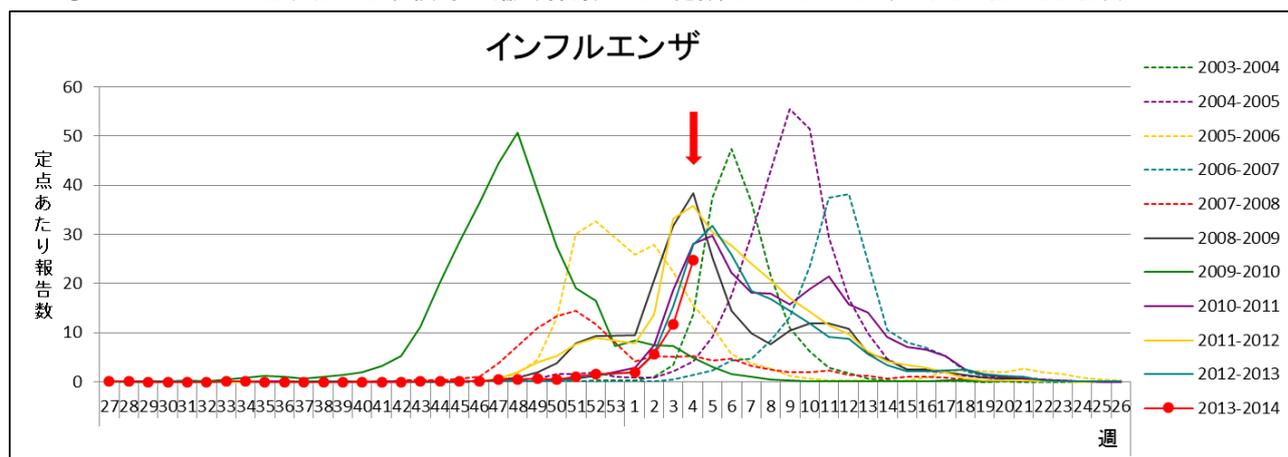
※第 3 週のインフルエンザの集計に訂正がありました。正しくは、全县で 973 名(定点あたり 11.72 人)、備前地域 98 名(定点あたり 6.53 人)です。今週から修正後の値を掲載しています。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 2053 名(定点あたり 11.72 → 24.73 人)の発生があり、大きく増加しました。
- インフルエンザによる入院患者 10 名の報告がありました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 59 施設でありました。
- 今週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは AH3 型が 8 株、AH1pdm09 型が 7 株でした。

【第 5 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 64 施設でありました(1 月 27 日~29 日)。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 2053 名(定点あたり 11.72 → 24.73 人)の発生があり、前週より大きく増加しました(83 定点医療機関報告)。岡山県では、第 51 週(12/16~12/22)以降、患者増加が続いており、第 2 週以降は急激に増加しています。県では 1 月 16 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、備北地域(36.80 人)、美作地域(34.20 人)、倉敷市(31.88 人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。全ての地域で報告数が大きく増加し、急速に流行が拡大しています。倉敷市、備北地域及び美作地域で定点あたり報告数 30 人を上まわり、発生レベル 3 になりました。また、岡山市、備前地域及び備中地域で新たに定点あたり報告数 10 人を上まわり、発生レベル 2 になりました。

第 4 週の学校等の臨時休業は 59 施設から報告があり、前週の 14 施設から大幅に増加しました。第 5 週も臨時休業が多発していることから、今後も幼稚園児、小学生、中学生を中心に患者の増加が懸念されます。『外出後や食事の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠をとる。』など、感染予防に努めて下さい。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザは流行期に入っています。さらなる感染予防に努めて下さい。

◎外から帰ったときや、食事前には手洗い・うがいを心がけましょう。

アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。

◎インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します。

周囲の方々のためにも普段から「咳エチケット」を心がけましょう。

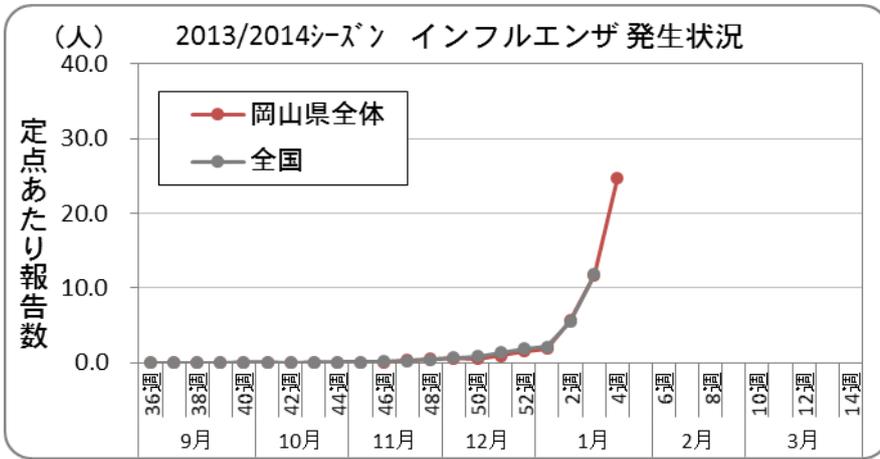
◎可能な限り人混みを避け、マスクを着用しましょう。体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。

1. 地域別発生状況

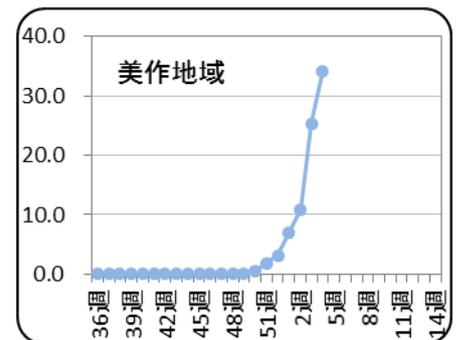
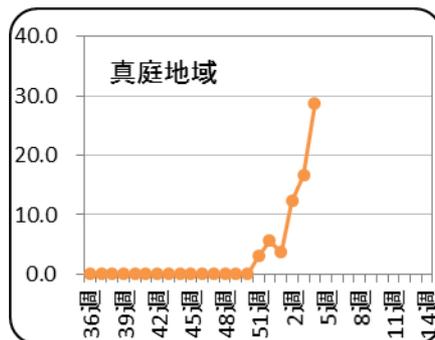
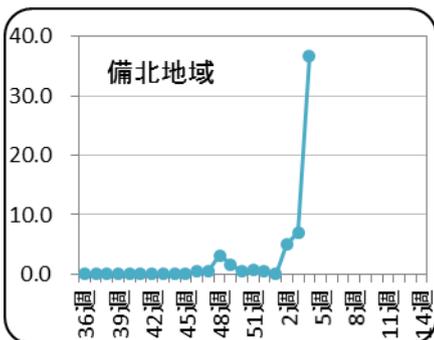
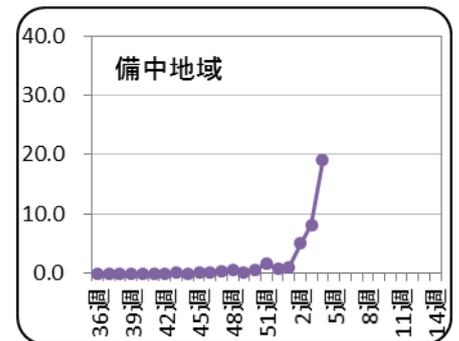
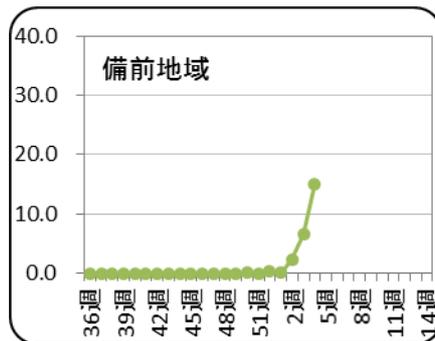
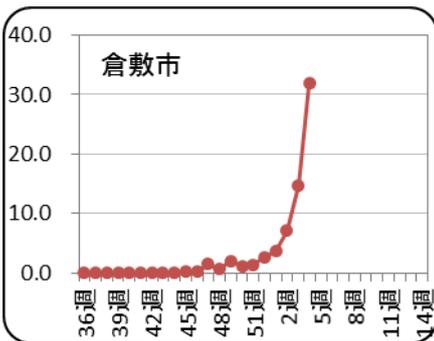
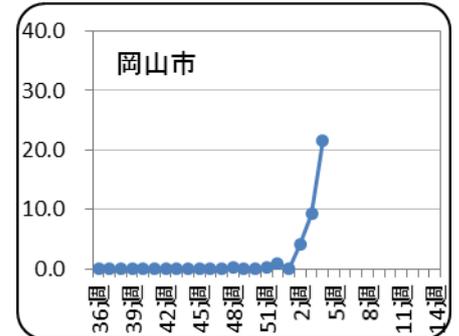
前週からの推移 (単位: 人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2053	▲	備 中	患者数	229	▲
	定点あたり	24.73			定点あたり	19.08	
岡山市	患者数	476	▲	備 北	患者数	184	▲
	定点あたり	21.64			定点あたり	36.80	
倉敷市	患者数	510	▲	真 庭	患者数	86	▲
	定点あたり	31.88			定点あたり	28.67	
備 前	患者数	226	▲	美 作	患者数	342	▲
	定点あたり	15.07			定点あたり	34.20	

【記号の説明】 前週からの推移: 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
 1.1~2倍未満の増加 ▲ 2倍以上の増加 ↑

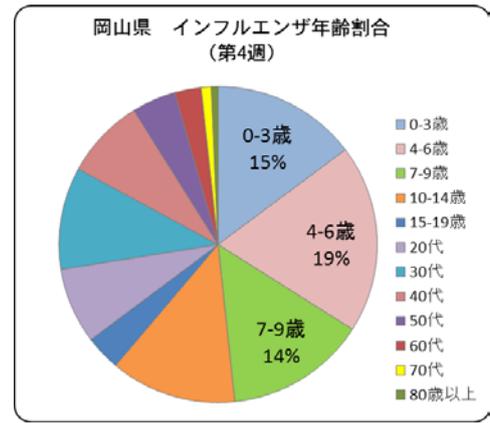
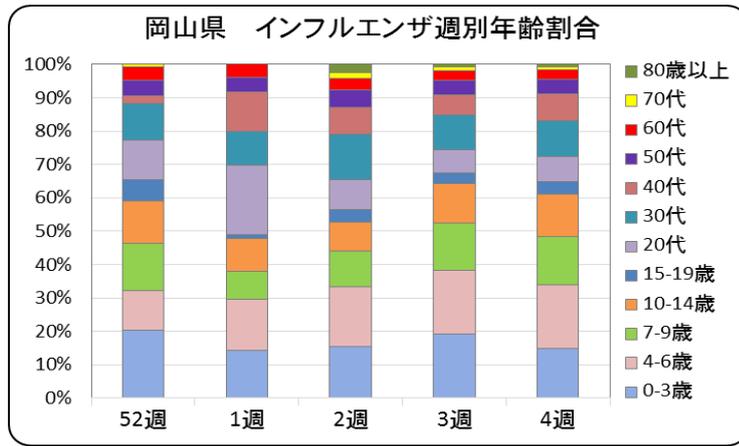


全国集計第3週(1/13~1/19)速報値によると、全国では定点あたり11.78人であり、第43週以降増加が続いています。地域別では、沖縄県(36.74人)、宮崎県(19.58人)、岐阜県(19.13人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、第2週にひきつづき、第3週も47都道府県全てで前週より増加しました。



2. 年齢別発生状況

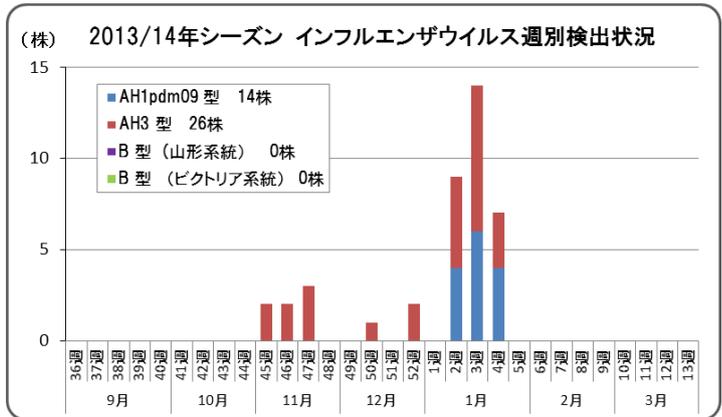
第4週の年齢別割合は、4-6歳 19%、0-3歳 15%、7-9歳 14%の順で多くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第4週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはAH3型が8株、AH1pdm09型が7株でした。今シーズンでこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が26株(65%)、AH1pdm09型が14株(35%)となっています。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型40%、AH1pdm09型35%、B型25%の順に多く検出されています。昨シーズン同様AH3型が最も多く検出されていますが、B型及び2009/2010年シーズンに新型インフルエンザとして大流行したAH1pdm09型の検出割合が増加しています。(平成26年1月30日現在)



[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)\)](#)

【第4週判明分】

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	保健所管内	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第2週(1/6~1/12)	2014/1/10	備中	小学生	男	
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第2週(1/6~1/12)	2014/1/11	備中	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第2週(1/6~1/12)	2014/1/11	備中	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第2週(1/6~1/12)	2014/1/11	備中	小学生	男	
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第3週(1/13~1/19)	2014/1/15	備中	小学生	男	
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第3週(1/13~1/19)	2014/1/17	岡山市	10代	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第3週(1/13~1/19)	2014/1/17	岡山市	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第3週(1/13~1/19)	2014/1/18	岡山市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	備中	幼児	女	
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	備中	幼児	女	
インフルエンザウイルスAH3型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	岡山市	10代	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	備前	小学生	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	備前	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	備前	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2014年第4週(1/20~1/26)	2014/1/20	岡山市	40代	男	

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 59 施設でありました。

備北地域では、今シーズン初めての臨時休業報告となっています。

【第 4 週 臨時休業施設数】

▽岡山市 24 ▽倉敷市 10 ▽玉野市 2 ▽備前市 1 ▽和気町 1 ▽高梁市 2 ▽井原市 1
▽津山市 12 ▽総社市 1 ▽浅口市 1 ▽美作市 1 ▽美咲町 1 ▽鏡野町 2



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	897	1140	652	836	59	79	4	5	13	20	42	54	H25. 11. 13
岡山市	396	469	255	307	24	29	1	1	2	3	21	25	H26. 1. 14
倉敷市	109	188	85	138	10	15	0	0	5	5	5	10	H25. 11. 18
備前地域	57	61	39	43	4	5	0	0	0	1	4	4	H26. 1. 16
備中地域	49	108	33	81	3	9	0	0	1	5	2	4	H25. 11. 13
備北地域	11	11	9	9	2	2	1	1	1	1	0	0	H26. 1. 23
真庭地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
美作地域	275	303	231	258	16	19	2	3	4	5	10	11	H25. 12. 20

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第 4 週 : 59 施設

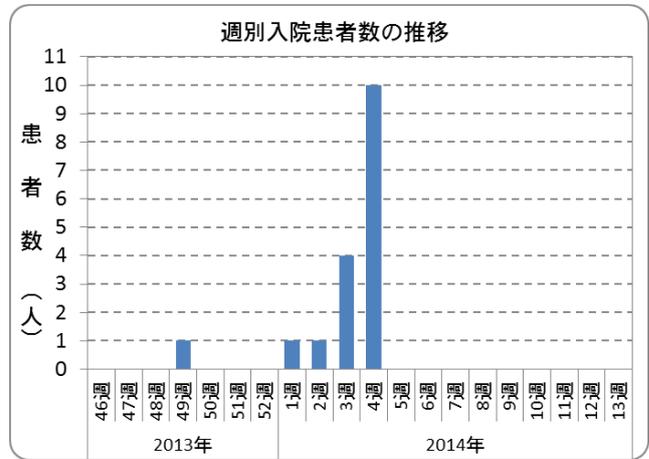
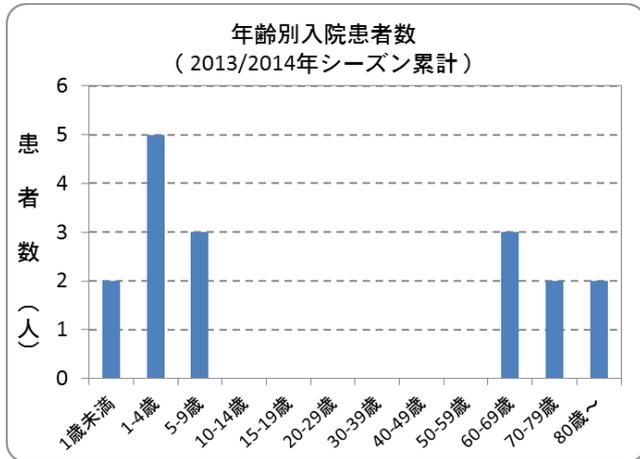
累計 : 79 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	13	16	38	53	6	7	2	2	0	1

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、10 名（1 歳未満 2 名、1-4 歳 3 名、5-9 歳 2 名、70 代 1 名、80 歳以上 2 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 4 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	3	2								1	2	10
ICU 入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)		1	1										2
頭部 MRI 検査(予定含)	1												1
脳波検査 (予定含)	1	1											2
いずれにも該当せず	1	2	1								1	2	7

* 重複あり

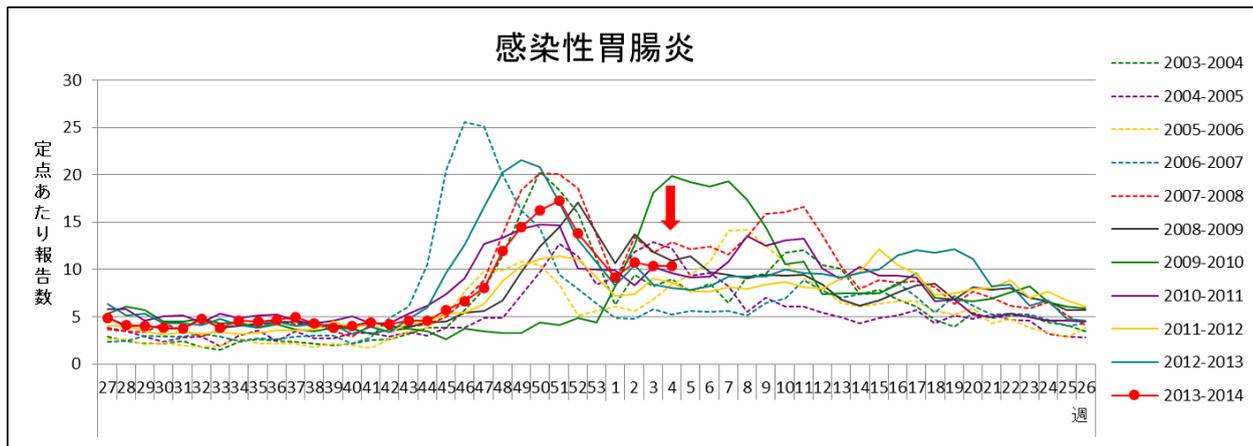
【平成 25 年 9 月 2 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	5	3							3	2	2	17
ICU 入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)		1	1								1		3
頭部 MRI 検査(予定含)	1										1		2
脳波検査 (予定含)	1	1											2
いずれにも該当せず	1	4	2							3	1	2	13

* 重複あり

感染性胃腸炎情報 2014 年 第 4 週 (1 月 20 日 ~ 1 月 26 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 549 名（定点あたり 10.38 → 10.36 人）の発生がありました（53 定点医療機関報告）。

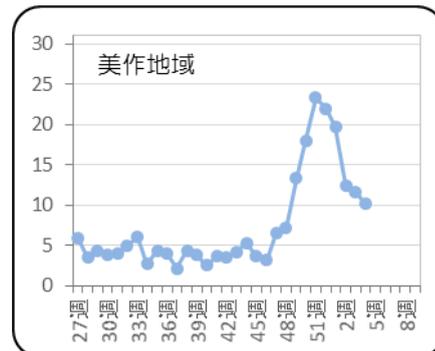
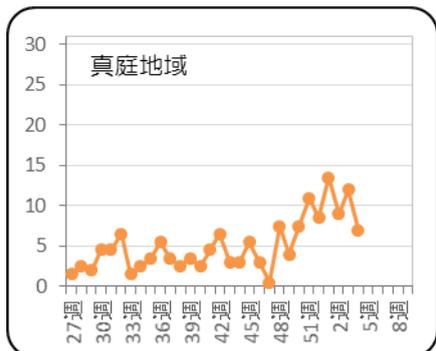
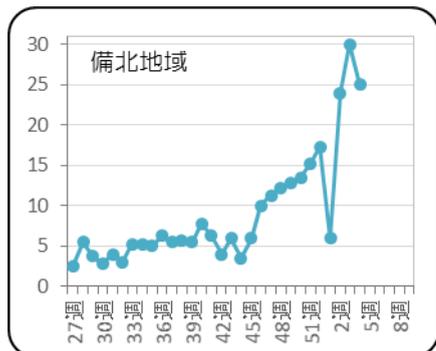
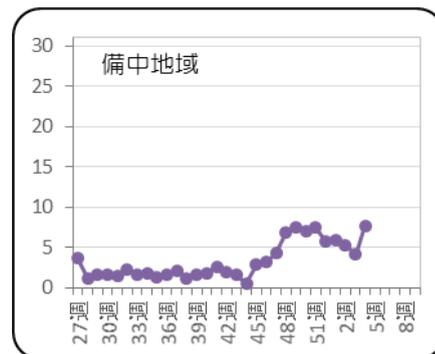
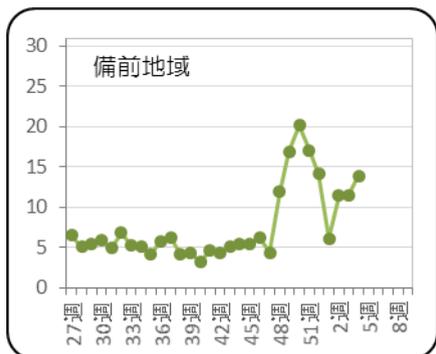
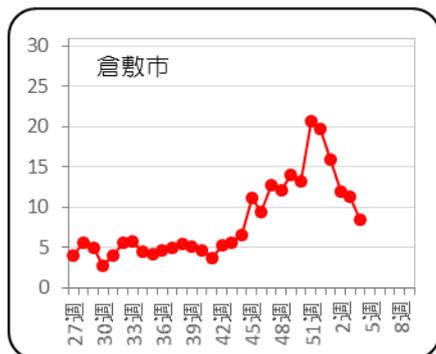
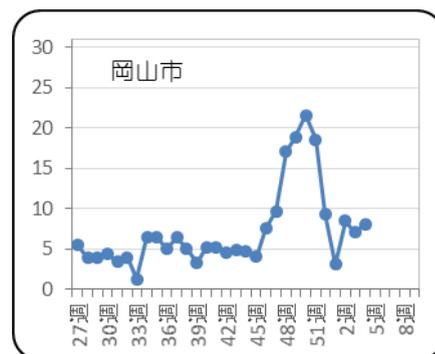
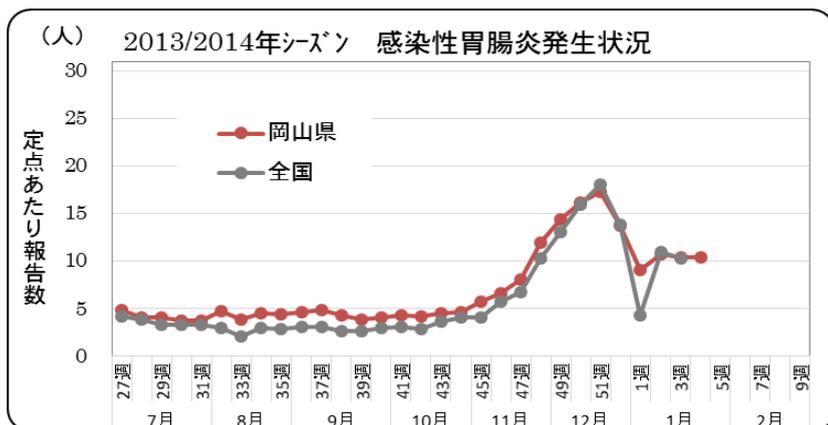


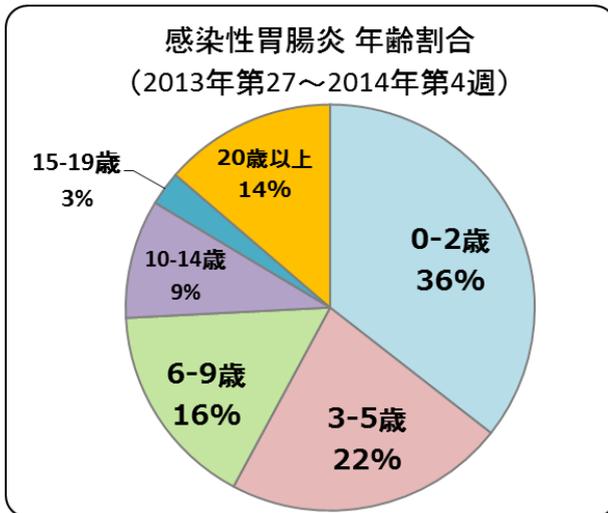
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で 549 名（定点あたり 10.38 → 10.36 人）の発生があり、前週とほぼ同数でした。県全体としての患者数は 12 月に比べて減少したものの、依然として多くの患者が報告されています。冬の感染性胃腸炎の原因はノロウイルス等のウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

[○ノロウイルスに関する Q&A について \(厚生労働省\)](#)

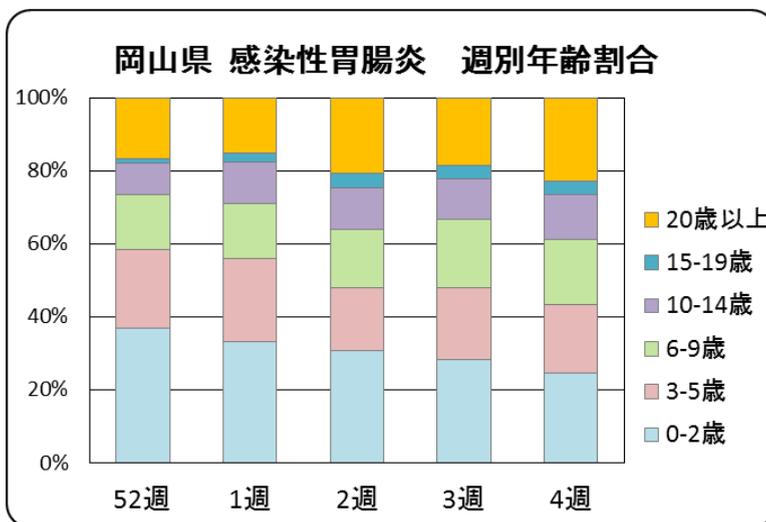
◆地域別・年齢別発生状況





レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、備北地域 (25.00 人)、備前地域 (13.90 人)、美作地域 (10.17 人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。備北地域で発生レベル3が継続しており、地域的な流行がみられています。

年齢別累計では、5歳以下の乳幼児が全体の58%を占めています。週別の年齢割合では、年長者の占める割合の増加がみられ、全ての年齢で注意が必要です。

◎感染性胃腸炎が多く発生しています。

石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。また、塩素系漂白剤などを使った消毒も併せて行いましょう。

通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

保健所別報告患者数 2014年 4週 (2014/01/20~2014/01/26)

2014年1月30日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2053	24.73	476	21.64	510	31.88	226	15.07	229	19.08	184	36.80	86	28.67	342	34.20
RSウイルス感染症	15	0.28	9	0.64	2	0.18	-	-	3	0.43	1	0.33	-	-	-	-
咽頭結膜熱	24	0.45	7	0.50	-	-	6	0.60	1	0.14	4	1.33	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	0.83	34	2.43	5	0.45	1	0.10	1	0.14	-	-	2	1.00	1	0.17
感染性胃腸炎	549	10.36	113	8.07	93	8.45	139	13.90	54	7.71	75	25.00	14	7.00	61	10.17
水痘	77	1.45	41	2.93	12	1.09	7	0.70	3	0.43	-	-	5	2.50	9	1.50
手足口病	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	21	0.40	9	0.64	10	0.91	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	0.08	-	-	1	0.09	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	3	0.60	5	1.25	1	1.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.20	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 4週 (2014/01/20~2014/01/26)

2014年1月30日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2053	24.73	476	21.64	510	31.88	226	15.07	229	19.08	184	36.80	86	28.67	342	34.20
咽頭結膜熱	24	0.45	7	0.50	-	-	6	0.60	1	0.14	4	1.33	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	0.83	34	2.43	5	0.45	1	0.10	1	0.14	-	-	2	1.00	1	0.17
感染性胃腸炎	549	10.36	113	8.07	93	8.45	139	13.90	54	7.71	75	25.00	14	7.00	61	10.17
水痘	77	1.45	41	2.93	12	1.09	7	0.70	3	0.43	-	-	5	2.50	9	1.50
手足口病	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	0.08	-	-	1	0.09	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	3	0.60	5	1.25	1	1.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第4週 2014/01/20～2014/01/26)

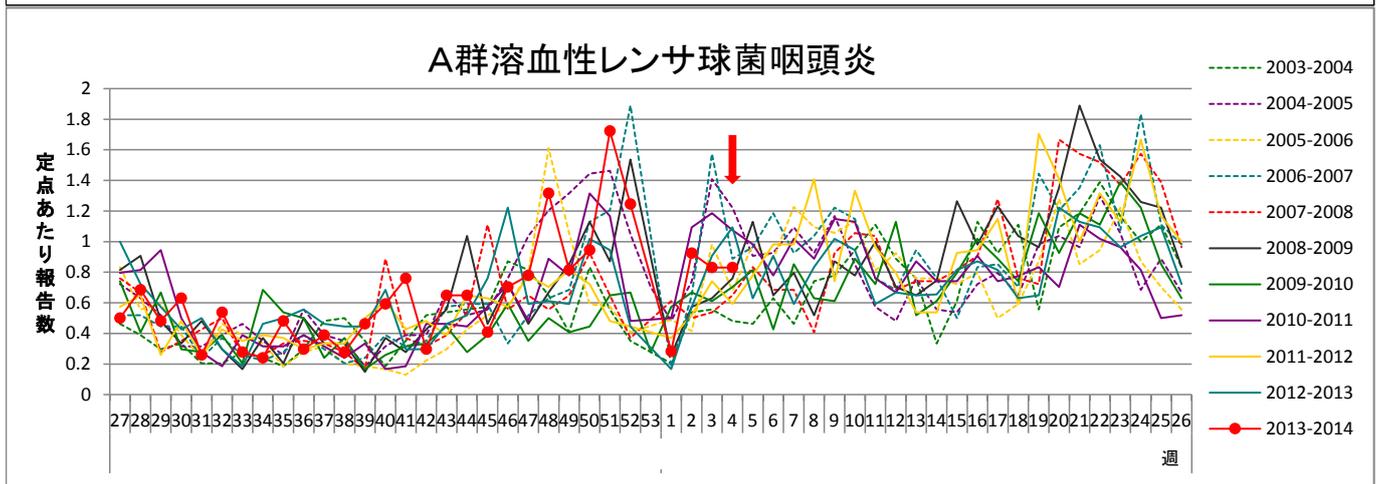
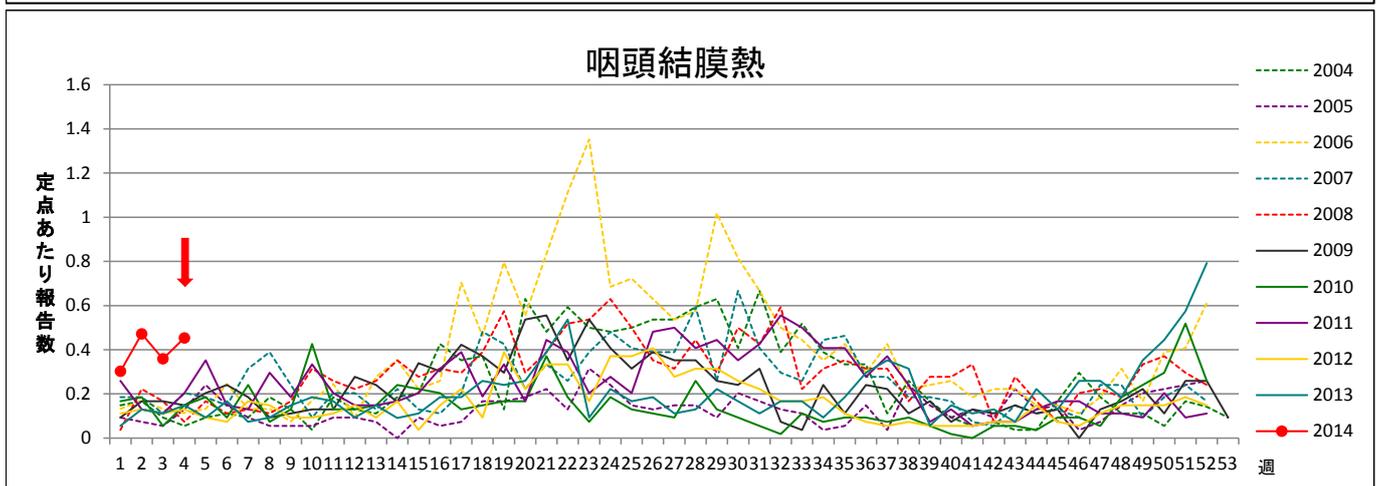
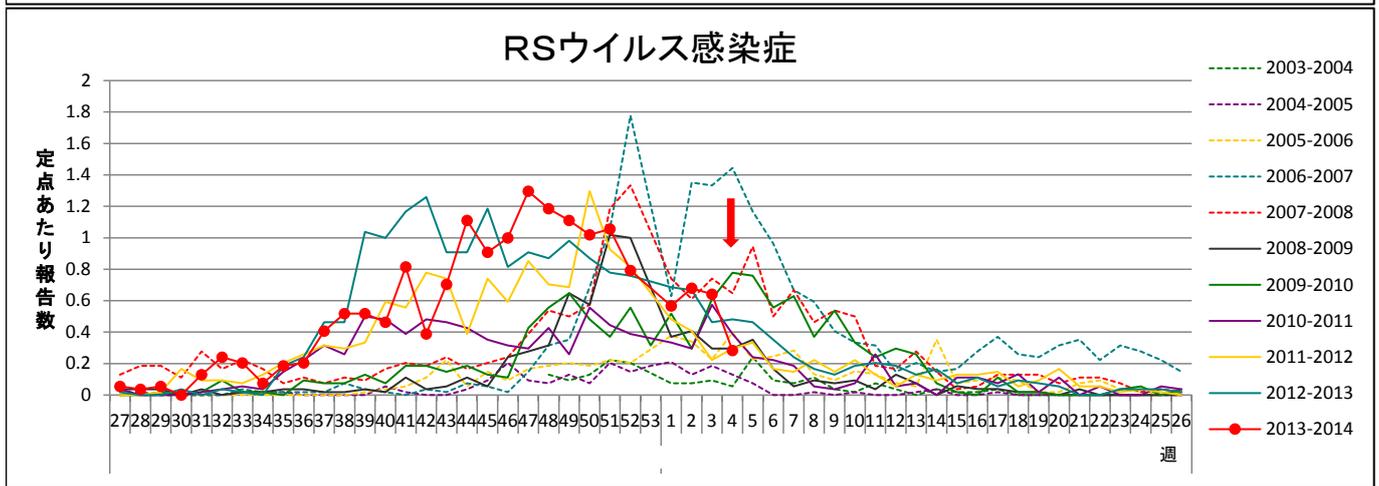
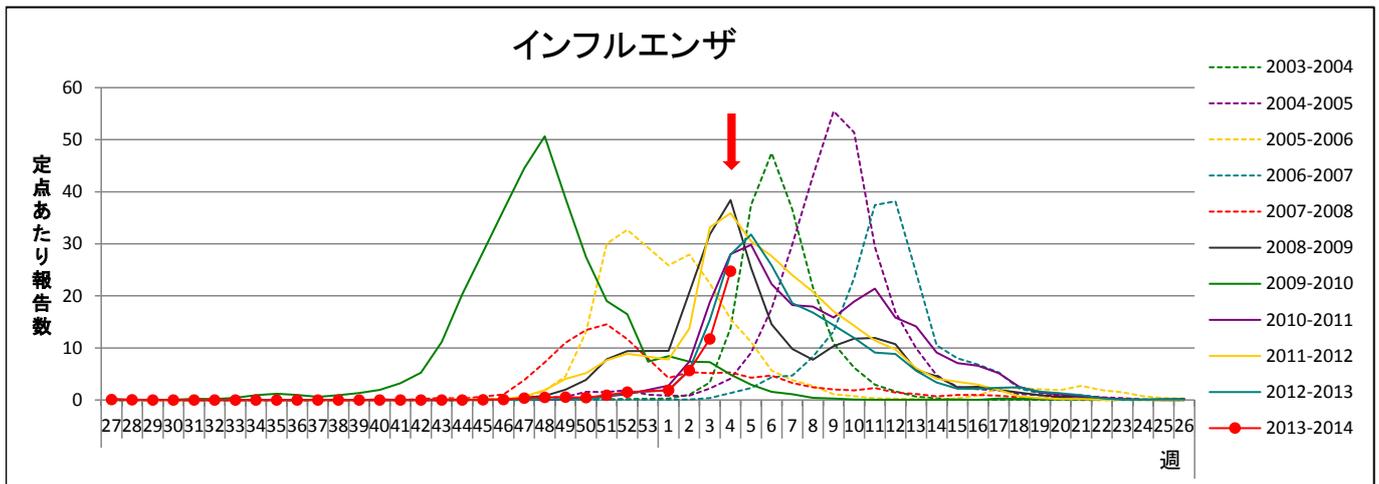
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	2053	7	18	97	90	91	128	149	118	123	89	82	263	74	159	215	168	92	55	21	14

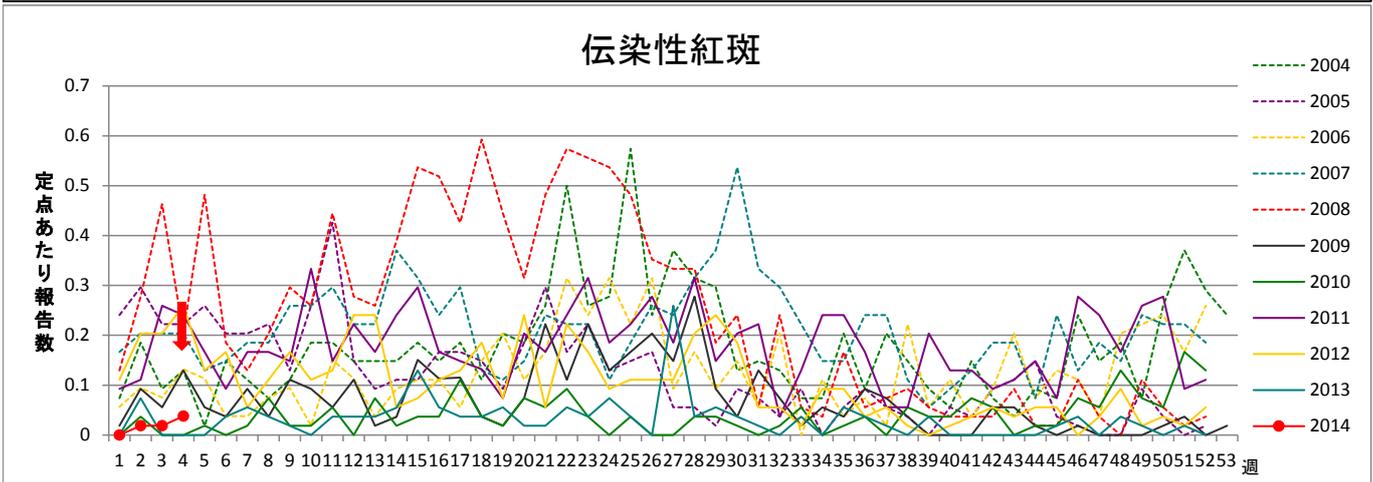
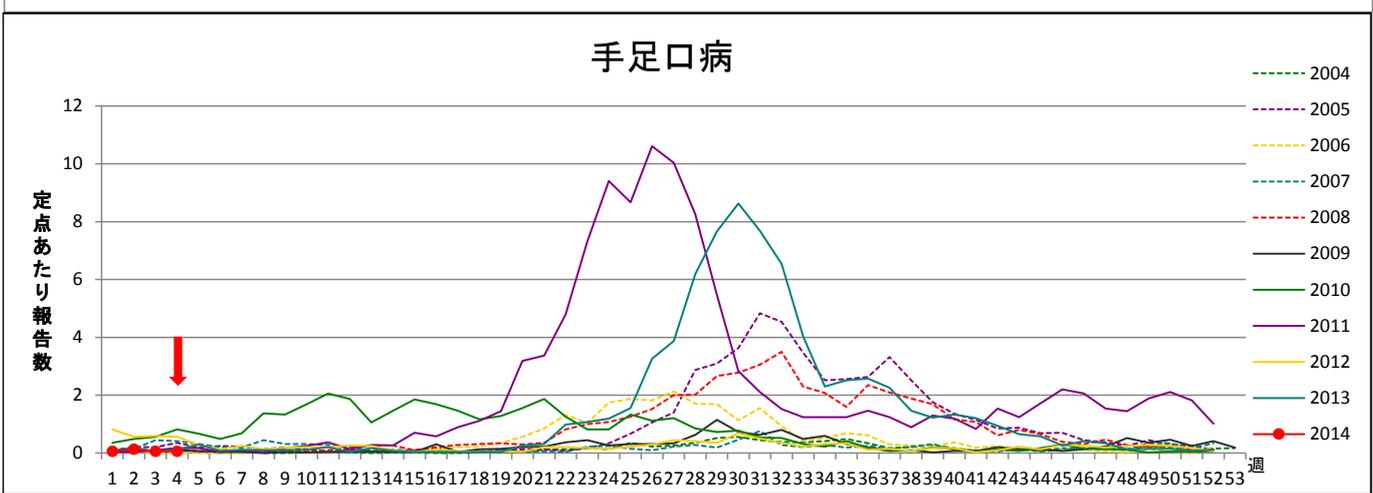
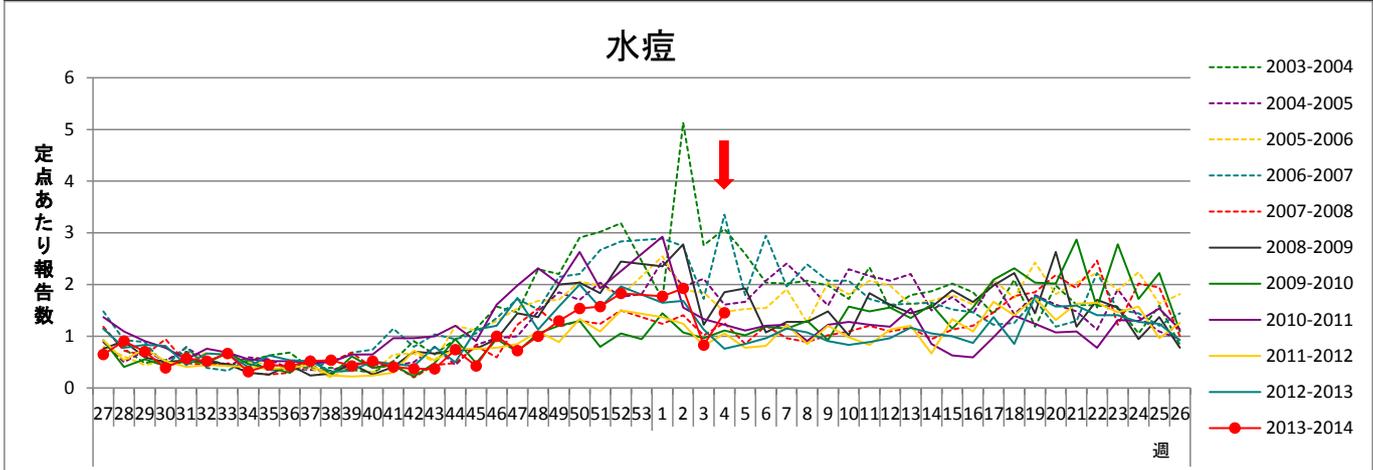
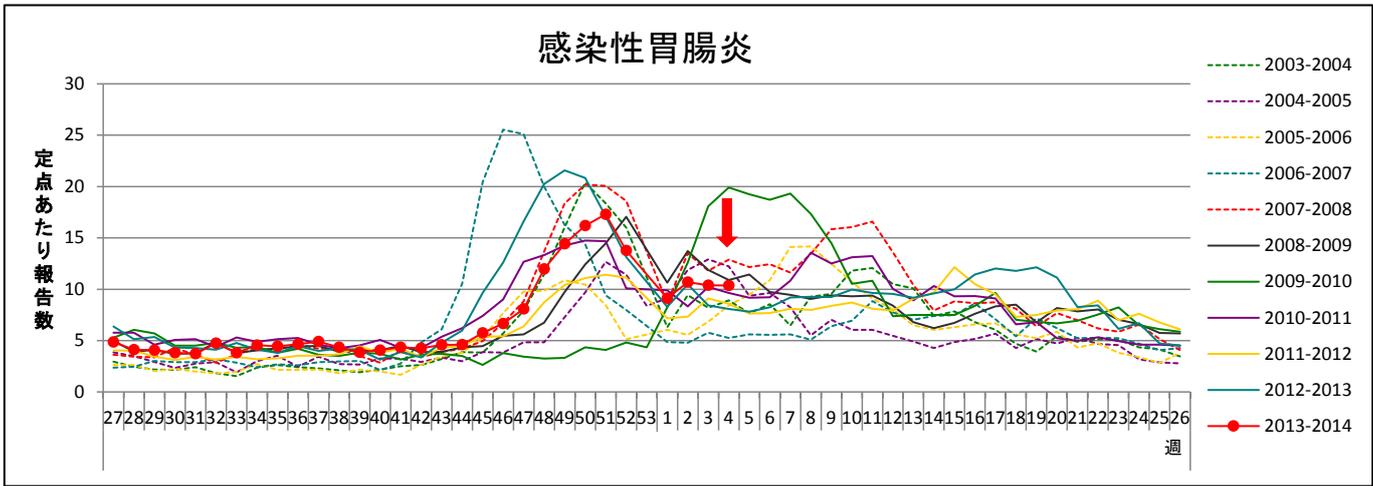
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	15	7	1	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	24	-	3	1	1	5	2	4	-	2	2	-	3	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	-	-	2	2	6	4	9	4	4	5	1	4	-	3
感染性胃腸炎	549	7	35	47	45	25	30	49	24	27	27	20	67	21	125
水痘	77	3	5	16	14	12	8	7	2	7	3	-	-	-	-
手足口病	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
突発性発疹	21	2	7	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	4	-	-

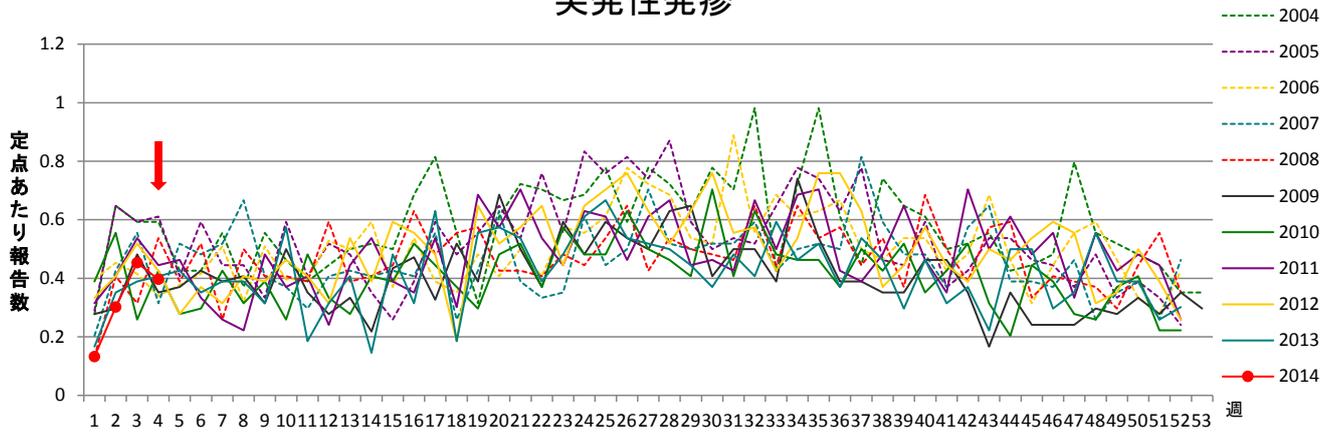
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

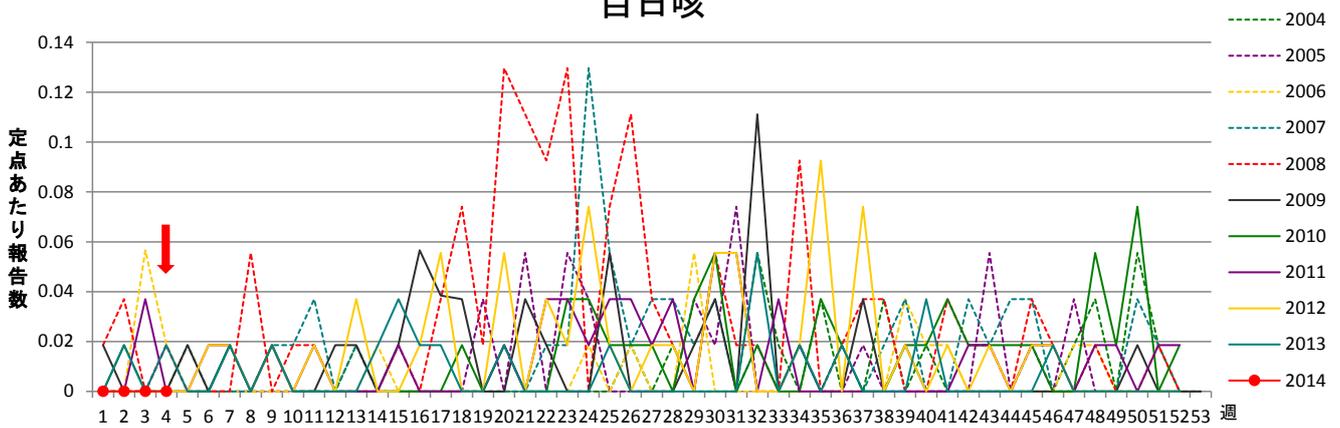




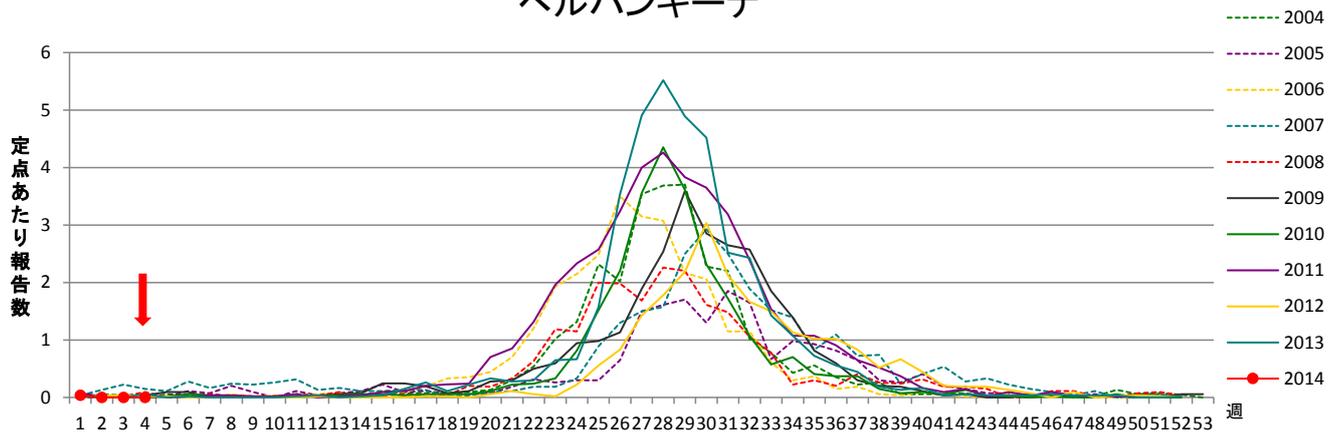
突発性発疹



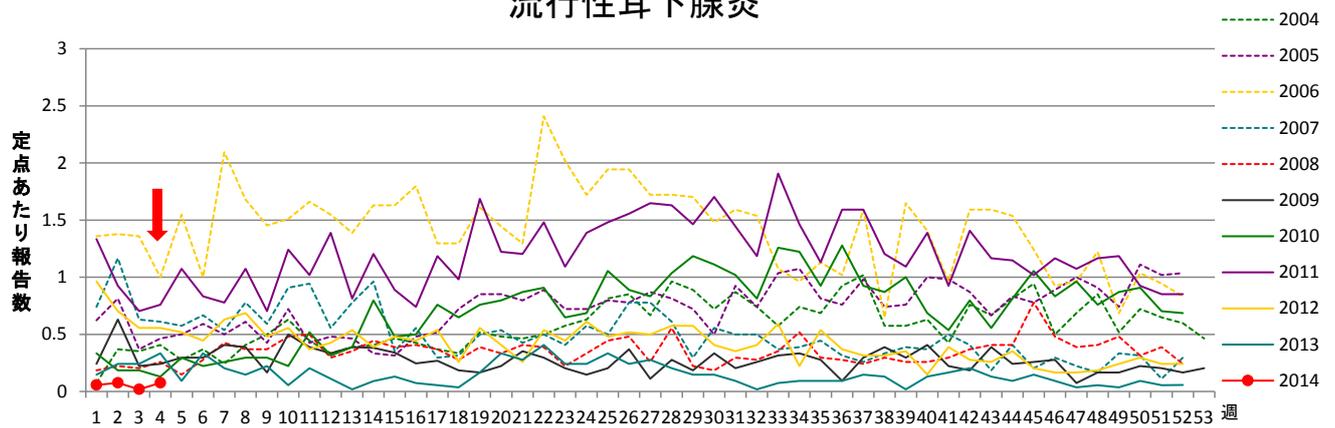
百日咳



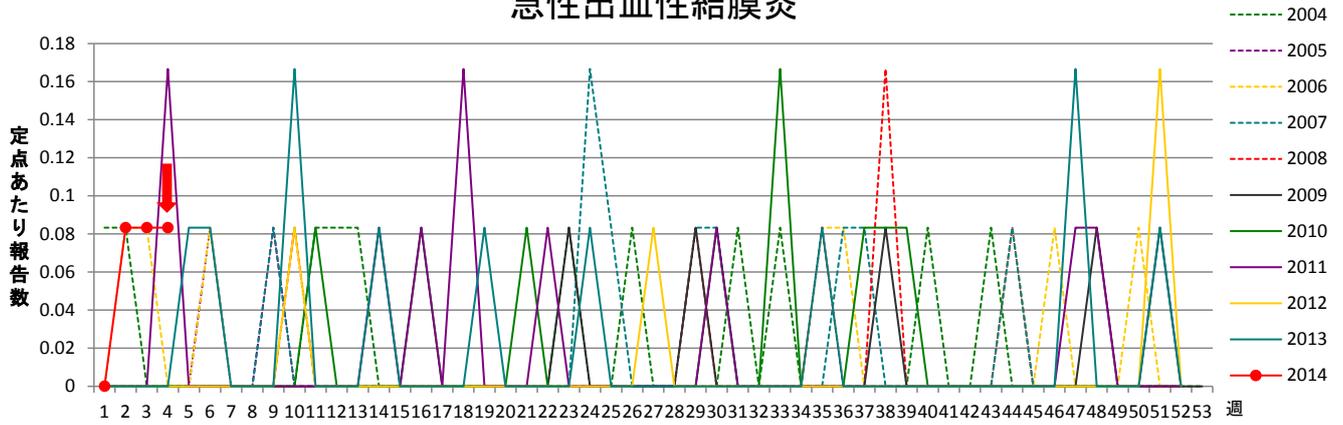
ヘルパンギーナ



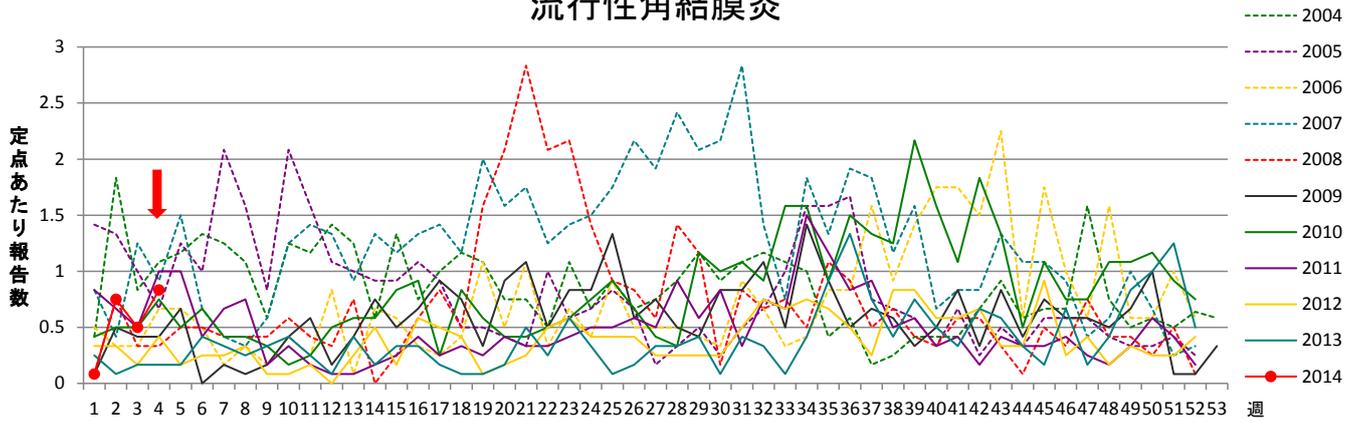
流行性耳下腺炎



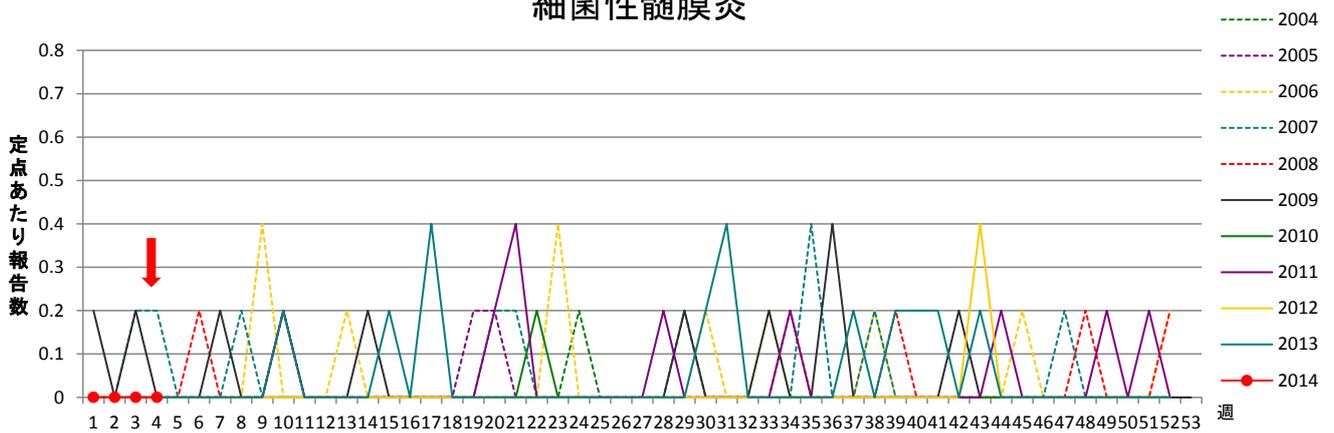
急性出血性結膜炎



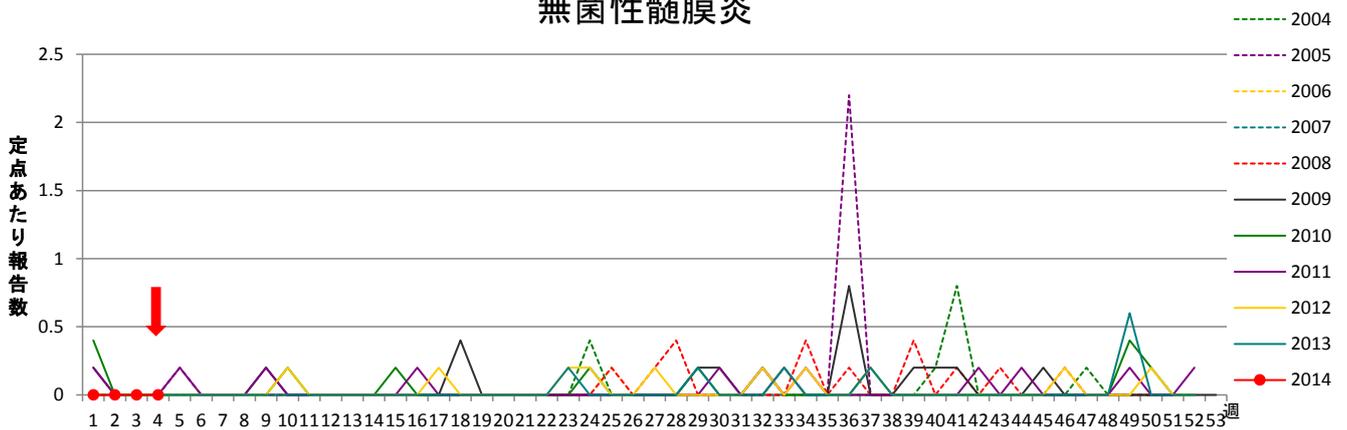
流行性角結膜炎



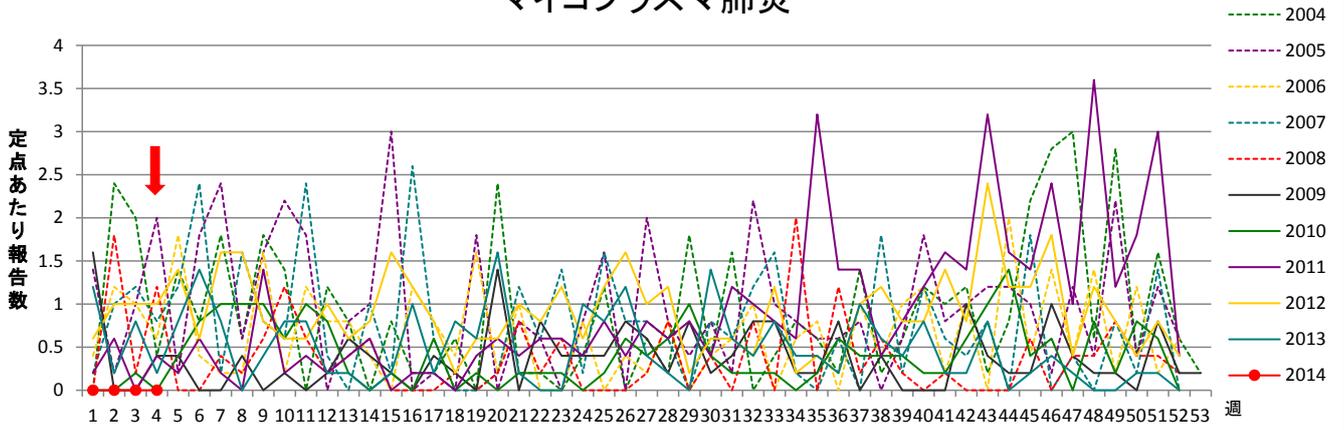
細菌性髄膜炎



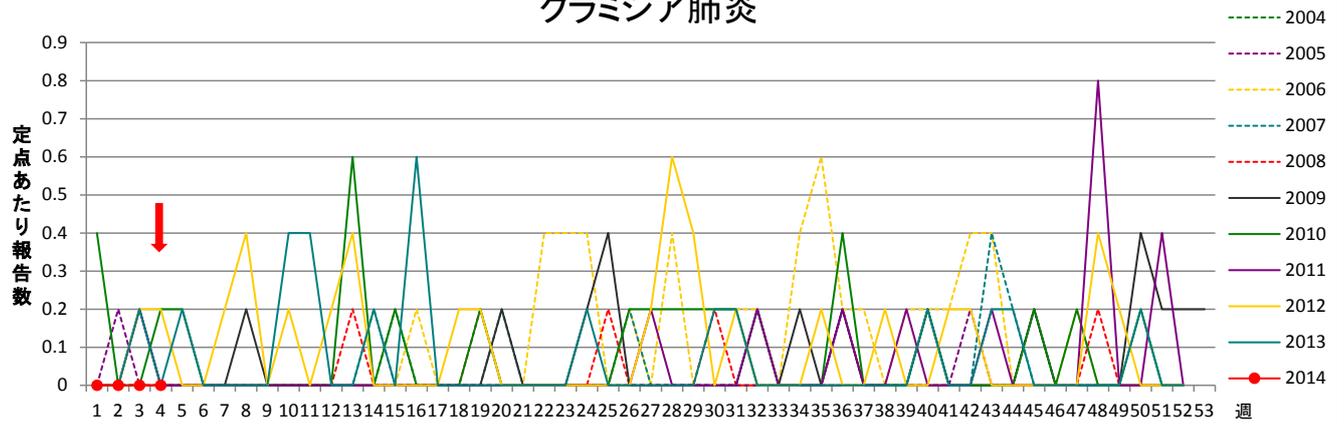
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

